

極域・寒冷域研究連絡会のご案内

極域・寒冷域研究連絡会より、2002年秋季大会（札幌）での開催内容のご案内をいたします。

日時：2002年10月11日（金）17：15～19：00頃

場所：北海道大学地球環境科学研究科C棟1階
C104

話題：

オホーツク海の海水と霧

一大気・海洋・海水結合系の変動一

「寒冷域の大気構造一境界層過程と自由大気」

木村龍治（東京大学海洋研究所）

「観測によって解明されたオホーツク海高気圧下層の霧の実体」

立花義裕（地球フロンティア/東海大学）

「オホーツク海高気圧一河川流量一海水相互の関連と北半球大気・海洋場との関係」

小木雅世（北海道大学大学院地球環境科学研究科）

「オホーツク海の海水変動は何によって決まるか」

木村詞明

（宇宙開発事業団地球観測利用研究センター）

「海水と大気境界層の熱交換過程」

猪上 淳

（北海道大学低温科学研究所/コロラド大学）

今回は、学会シンポジウムとも連動して、オホーツク海に関する話題の特集です。オホーツクに関する国

際共同観測プロジェクトをふまえての集大成でもあります。夏でも冷たいオホーツク海は、海水や霧の形成を通じて、大気循環とその変動に影響を及ぼします。一方、大気循環は、オホーツク海の循環やまたは海水、霧の形成に強く影響しています。さらに、こうした大気・海洋（海水）相互作用は各季節毎に特徴ある振る舞いを見せます。ここでは、最新の研究成果をもとに、このような冷たい海特有の結合系をなすオホーツク海域のプロセスについて、理解を深めたいと思います。

代表：木村龍治（東京大学海洋研究所）

世話人：平沢尚彦（国立極地研究所）

中村 尚（東京大学理学部）

浮田甚郎（米国航空宇宙局）

高田久美子（地球フロンティア研究システム）

阿部彩子（東京大学気候システム研究センター）

佐藤 薫（国立極地研究所）

本田明治（地球フロンティア研究システム）

齋藤冬樹（東京大学気候システム研究センター）

高谷康太郎（地球フロンティア研究システム）

問い合わせ先：

地球フロンティア研究システム 高谷康太郎

Tel：045-778-5526, Fax：045-778-5707

E-mail：takaya@jamstec.go.jp



一覧表

アジア太平洋地域を中心とした豪雨予報モデルの高度化に関する専門家会議	606
教官（北海道大学大学院地球環境科学研究科）公募	686
日本科学協会「平成15年度笹川科学研究助成」の募集	689
教員（東京理科大学理学部第二部物理学科）公募	694